

3. 礁池における増養殖漁場開発調査

総合事務局委託による「珊瑚礁海域漁場開発調査」の一環として本場は下記の項目について調査した。調査項目と担当者は下記のとおりである。

[生物学的環境調査]

- | | |
|-------------|---------|
| 1. ベントス調査 | 当 真 武 |
| 2. プランクトン調査 | 大 嶋 洋 行 |
| 3. 卵稚仔調査 | 喜屋武 俊 彦 |
| 4. 魚類相調査 | 吉 川 一 男 |
| 5. 総 括 | 崎 山 憲 一 |

その内容については昭和54年度沖縄特定開発事業推進調査「珊瑚礁海域漁場開発計画調査報告書」沖縄総合事務局農林水産部pp.8-1に報告したので詳細について省略する。

（調査結果の概要）

調査結果によれば、本調査区域は、主に沖縄本島東部の沿岸域で構成される複数の礁池である。これらの礁池は、地形的には、主に海岸段丘や河口段丘などの低地帯に位置する。また、水文条件としては、季節的な潮汐変動が大きく、海水交換率が比較的高いことが特徴である。生物相としては、ベントス（底生生物）においては、種類が豊富で、特にサンゴ礁に特徴的な種類が見られる。プランクトン調査では、浮遊性の生物が多様であり、特に浮遊性の甲殻類が目立つ。卵稚仔調査では、多くの魚類の卵や稚仔が確認され、特に熱帯魚の稚仔が多い。魚類相調査では、種類が豊富で、特に熱帯魚が多様である。総括として、本調査区域は、複数の礁池によって構成される複雑な生態系であり、生物相も多様であるが、特にサンゴ礁に特徴的な種類が見られる。

（調査結果の概要）

調査結果によれば、本調査区域は、主に沖縄本島東部の沿岸域で構成される複数の礁池である。これらの礁池は、地形的には、主に海岸段丘や河口段丘などの低地帯に位置する。また、水文条件としては、季節的な潮汐変動が大きく、海水交換率が比較的高いことが特徴である。生物相としては、ベントス（底生生物）においては、種類が豊富で、特にサンゴ礁に特徴的な種類が見られる。プランクトン調査では、浮遊性の生物が多様であり、特に浮遊性の甲殻類が目立つ。卵稚仔調査では、多くの魚類の卵や稚仔が確認され、特に熱帯魚の稚仔が多い。魚類相調査では、種類が豊富で、特に熱帯魚が多様である。総括として、本調査区域は、複数の礁池によって構成される複雑な生態系であり、生物相も多様であるが、特にサンゴ礁に特徴的な種類が見られる。